

ザ・チャレンジ

(大学受験編)

センター試験まで50日を切りました。年が明けると私立大学の出願が始まります。年内には高校の先生へ調査書の発行をお願いし、受験大学の願書を取り寄せて、写真を準備し、冬休み中に願書の記入をしてお

■ ウェブ出願に必要なもの ■

- ・パソコン(メールアドレス)とプリンター
インターネットに接続されているか?
PDFファイルは開けるか? プリンターの用紙(A4)やインク切れにも注意!
また、タブレットやスマートフォンなどの携帯端末では正常に出願できない場合がある。
- ・顔写真 紙媒体で貼り付けるのか? データでアップロードするのか? 大きさは?
- ・封筒 角2サイズを指定する大学が多いが、このサイズはコンビニでは扱っていない場合が多く、注意が必要。
- ・調査書
- ・大学入試センター試験成績請求票(センター試験利用方式の場合)

Q.「ウェブ出願」の注意点は?

くことがこれまでの受験生の常識でした。ところが近年、出願をインターネットで行う「ウェブ出願」を導入する大学が急増中なのをご存じでしょうか?

「24時間出願OK」「出願時の記入ミス防止」など、画期的で一見便利そうなウェブ出願。紙の募集要項(願書)を取り寄せる必要がなく、ネット上の出願サイトで個人情報など必要事項を入力し、送信することで出願登録ができます。また、これまで主に銀行が中心だった検定料の支払いも、コンビニやクレジットカードでき、保護者にとっては非常に便利になりました。

しかし、注意点も多くあります。

何よりも、現行のウェブ出願は全ての手続きをウェブだけで完結できるとは限りません。ウェブで済むのは入力・登録だけで、その後、出願締め切り日までに自分で入力した志願票をプリントアウトし、調査書など必要な出願書類とともに封筒に入れて大

学側へ郵送するケースがほとんどです。このとき、出願書類は郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送しなければならず、郵便局の営業時間にも注意が必要です。

出願完了後は大学から受験票が送付されるのが一般的ですが、ウェブ上から受験票をプリントアウトする大学もあります。

以上のように便利に見えるウェブ出願ですが、出願時の細かい注意点は大学によりさまざまです。紙の願書よりもかえって手間と時間がかかる場合も考えられます。慣れないウェブ出願だからこそ、早めの準備を心がけるようにしましょう。

(CG高等館 東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な学び、の情報を紹介。今回は小学校受験編。



大学進学情報紙「トーンタイムズ」はCG高等館 東進衛星予備校各校舎で無料配布。12月1日号では、センター試験本番までの1カ月間の得点の伸びを分析します(写真は11月号)。

A. 郵送手続きが必要になるケースも